

# 第9回 横浜国際SUPマラソン 2026 実施概要

## 〔目次〕

- (1) SUPマラソン実施概要
- (2) SUPマラソン大会組織図
  - (3) タイムスケジュール
  - (4) 受付及び出艇場所
  - (5) 大会コース
  - (6) スタート詳細図
- (7) 安全対策及び緊急時の連絡系統図
  - (8) 関係機関・団体との調整

横浜国際SUPマラソン実行委員会

---

## (1)SUPマラソン実施概要

---

### 【日 時】

2026年3月1日(日) 6:00～12:30 9:00スタート(予定)  
(運営艇・警戒要員は8:00に配備)

### 【会 場】

大岡川～中村川～堀川

### 【開催趣旨】

- ①今後、水上交通やレジャー利用が見込まれる大岡川、中村川、堀川水系において「横浜国際SUPマラソン」を開催することにより、「河川使用における安全のための新しいルール作り」に対する理解と認知度を高め、この水域を多くの人に安全に使用してもらうためのきっかけの場とする。
- ②交通・生活の要として横浜中心部である関内、関外地区の発展に貢献してきた大岡川・中村川・堀川の歴史についても認識を深める。
- ③水上を利用するプレイヤー達が、利用する水域の環境問題について考える契機とし、水質やごみ問題を将来に向けてよりよい河川環境構築への展望を開く。
- ④大会参加者による会場周辺のゴミ拾いを行う事で、河川周辺の環境問題にも関心を持ってもらう。
- ⑤競技を通じてSUPという新しいパドルスポーツの魅力を広め、横浜の風景のひとつとして認知してもらう。

### 【実施内容】

横浜市庁舎前を基点(スタート)

大岡川～中村川・堀川を会場として、参加者100名、参加艇100艇によるSUP(スタンドアップパドルボード)によるマラソンレースを実施する。

#### ①ショートコース11km

市庁舎前→桜栈橋→蒔田→代官橋(折返し)→蒔田→旭橋

#### ②ロングコース22km

①のコースを2周する(長者橋で折り返し、ゴールは旭橋)

- ・各クラス1～3位までを表彰
- ・レース終了後、参加者による桜栈橋周辺のゴミ拾いを実施予定  
(港則法適用海域外)

**【主 催】**

横浜国際SUPマラソン実行委員会

**【運 営】**

横浜SUP倶楽部

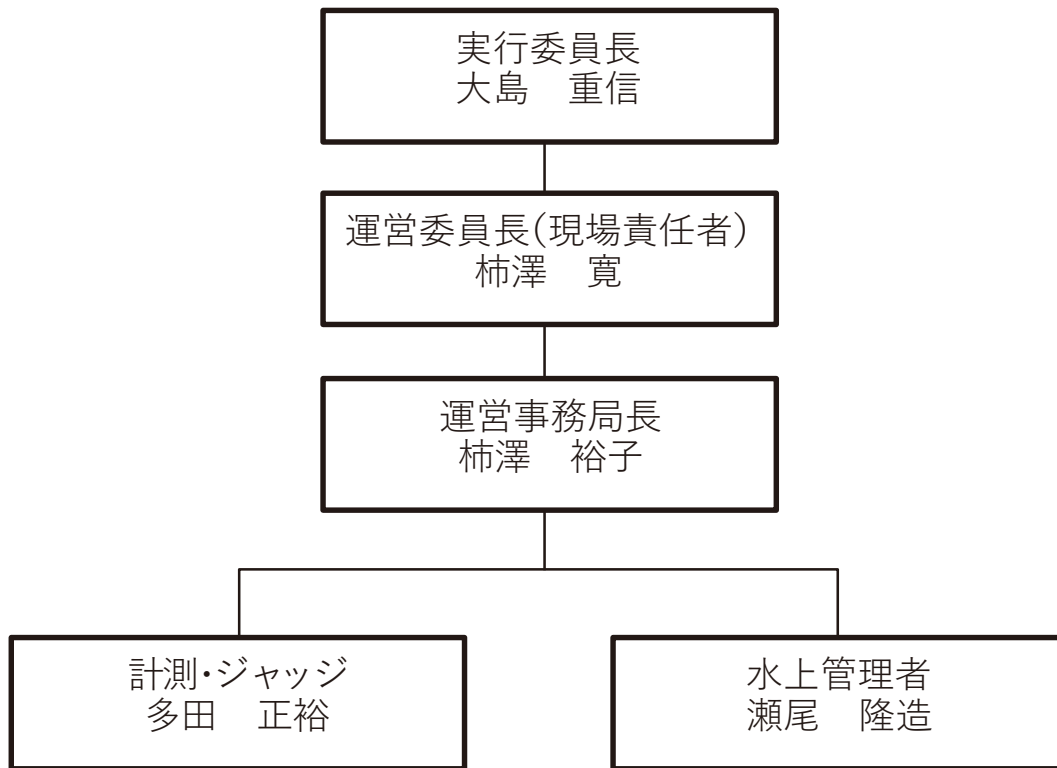
**【後 援】**

一般社団法人大岡川川の駅運営委員会  
NPO法人HamaBridge濱橋会

**【協 力】**

SUPA（日本スタンドアップパドル協会）  
SUPU（一般社団法人日本スタンドアップパドルユニオン）  
JSO（日本SUP振興会）

## (2)SUP マラソン大会組織図



### 【連絡先】

実行委員長	大島 重信	090-9201-1584
運営委員長	柿澤 寛	090-3502-2701
運営事務局長	柿澤 裕子	090-9393-8494
水上管理者	瀬尾 隆造	090-1383-0441
計測・ジャッジ	多田 正裕	090-8116-3135

### 【運営艇】

Deco	柿澤 裕子	090-9393-8494
濱海丸	吉野 生也	090-7630-2588
MALICIA	早川 昌和	090-3086-9558

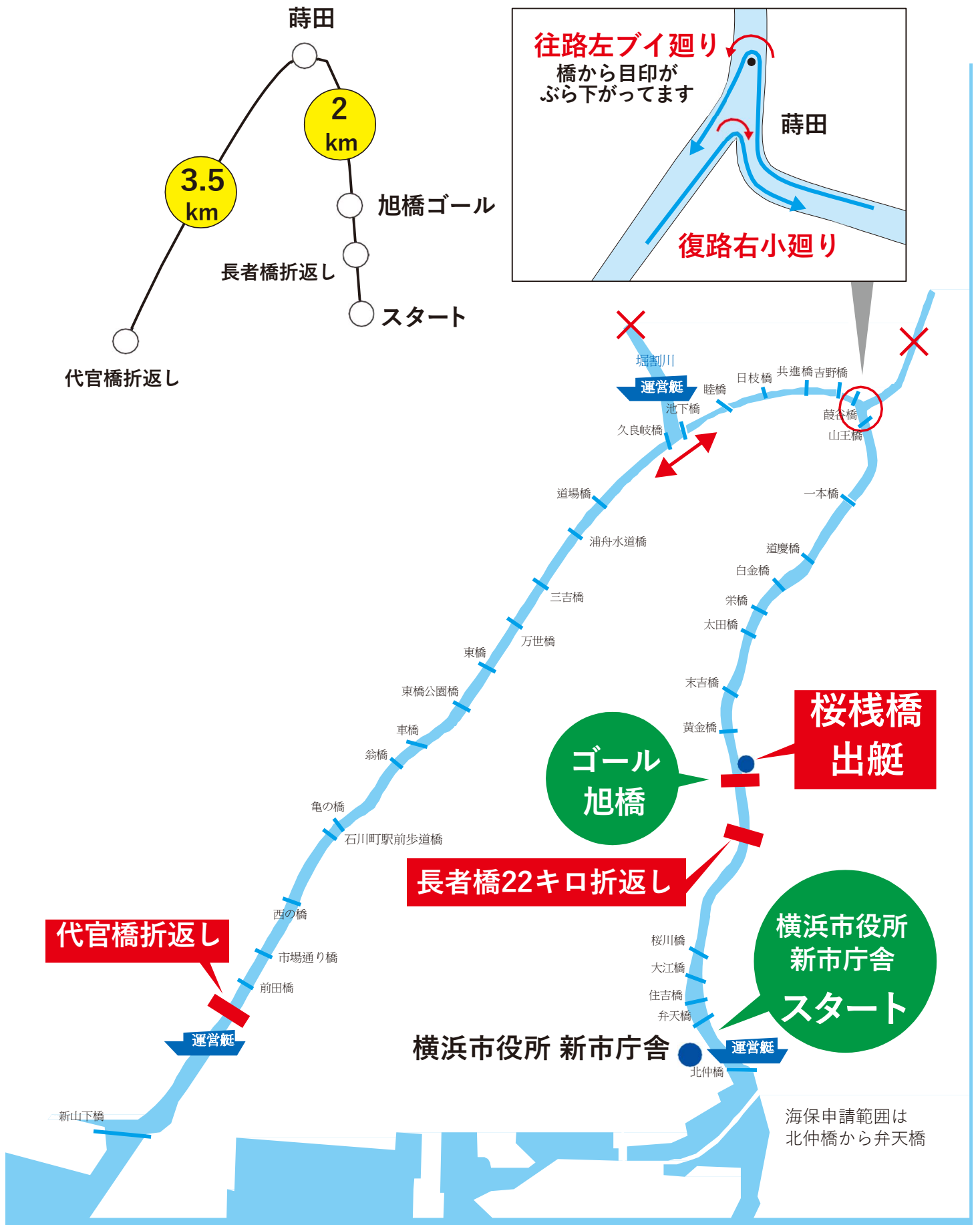
### (3) タイムスケジュール

	運 営	選 手
06:00	会場設営開始	
07:00		選手受付開始
08:00	運営艇・警戒要員配置	開会式・選手ミーティング
08:30		出艇準備
9:00		スタート
9:30	最後尾選手、弁天橋通過予定時刻 および警戒終了時刻	
12:30		競技終了
13:00	表彰および閉会式	
14:00		解散
15:00	撤収完了	

### (4) 受付及び出艇場所

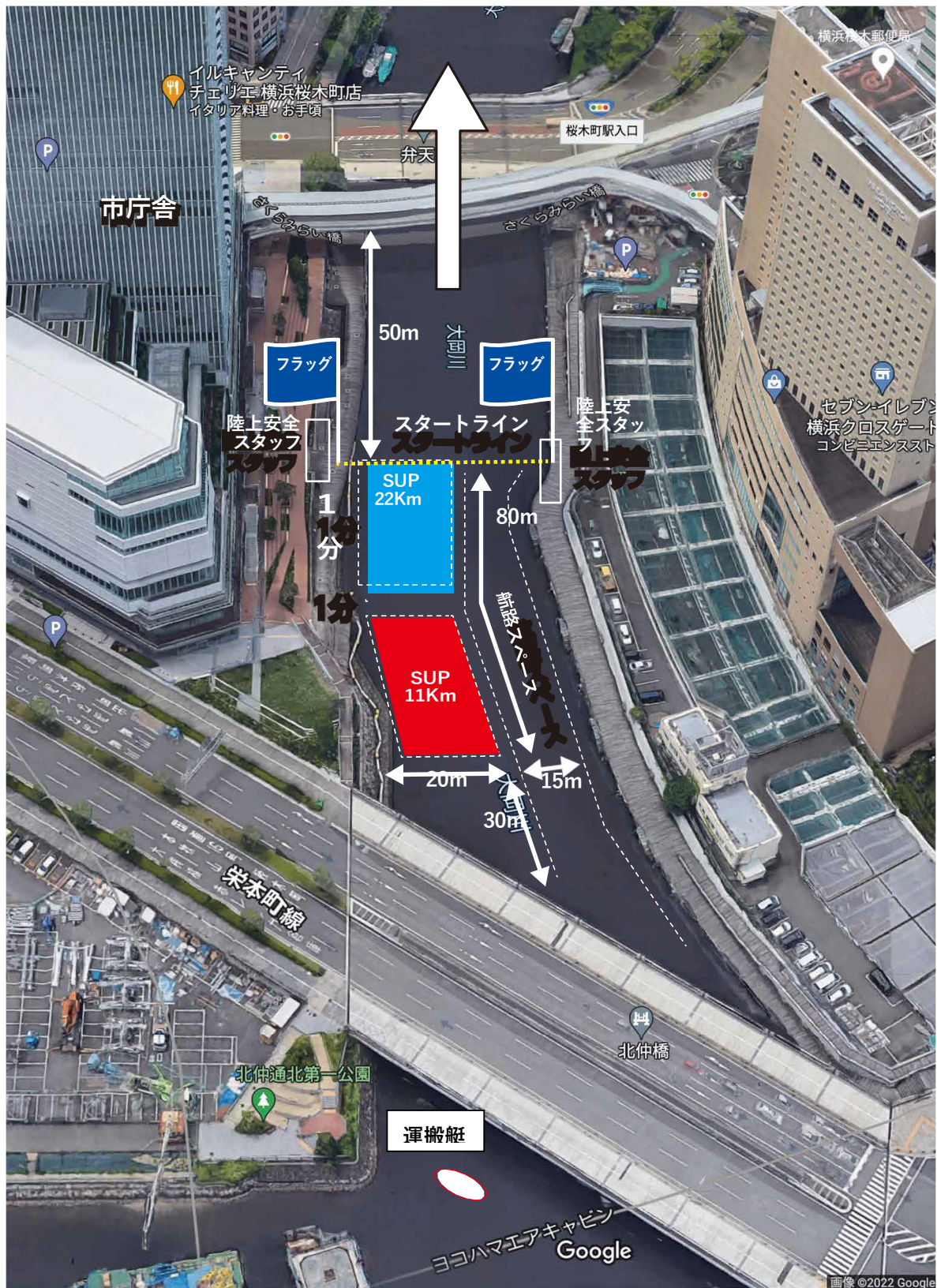


## (5) SUP マラソン大会コース





## (6) スタート詳細図



---

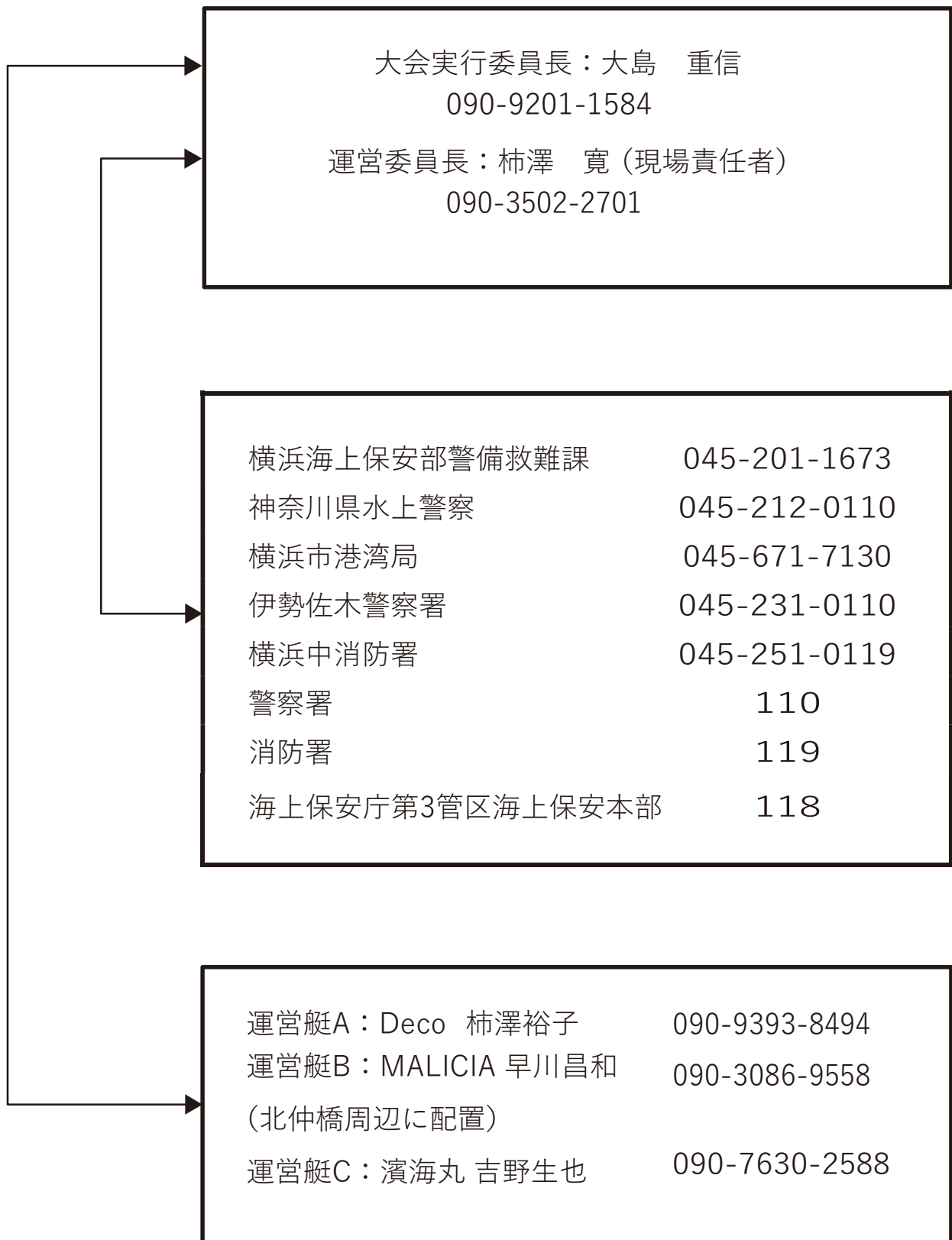
## (7) 安全対策及び緊急事通信連絡系統図

---

- SUPマラソン開催中、港則法適用海域内（北仲橋周辺）に運営艇1艇（動力船）及び地上の安全監視スタッフを設置し、大会開催エリアの警戒を行い、参加艇と一般航行船の事故を防止する。更に、参加者の転落事故などあれば速やかに救助する。
- 運営艇はSUPマラソン開催中、一般航行船の支障とならないよう実施しますが、関係先に大会の開催を伝え、最徐行での航行などを協力要請する。
- 台風、強風、大雨、洪水警報等発令中の場合、横浜SUPマラソン実行委員会が前日12:00横浜气象台発表の気象情報及び現場における気象・海象等を検討の上、前日15:00に中止を決定する。また、開催中においては、風速10m以上、波浪1m以上、視界1km以下いずれかの状況で、横浜SUPマラソン実行委員会が中止の決定をする。（それ以下であっても状況に応じて中止する）。なお、津波に関する注意報・警報が発令された場合は、速やかに中止する。
- 出場選手はライフジャケットを必ず着用する。また、SUPおよびサーフスキーの選手はクラフトと選手を接続するリーシュコードを必ず着用する。
- 大会本部（桜栈橋）には救護体制としてAED等配備し、不慮の事故に備える。
- 行事の現場には許可書又はその写しを携行し、同書記載の安全対策の各事項を末端の参加者に至るまで予め教育し、周知徹底します。
- 有資格者作業については有資格者が実施します。
- 他の航行船舶の可航幅を確保しつつ海域を閉塞することないように実施します。
- 基本的な海上交通ルールを参加者に教育します。
- 事故発生時には、直ちに各関係機関に通報する。
- 行事においては、港則法、海上衝突予防法等の関係法令を遵守するとともに、運営艇には海上衝突予防法に基づく灯火、形象物を掲げます。
- 水域利用者とは（8）関係機関・団体一覧表のとおり調整（了解）済みです。
- 運営艇上には専従の警戒員最低1名を配置し、周囲の監視に当たります。
- 通航船に支障がある場合は行事を一時中断し、通航帯を確保し、安全を確認後再開します。
- 夜間の作業は実施しません。
- 作業開始前には設備、用具、船舶等の始業点検を実施します。
- 行事中、資機材等が海面に落下しないよう必要な措置を講じます。万が一資機材の流出があった場合は、横浜海上保安部に連絡し、全力をあげて発見・回収に努めます。
- 行事中、事故その他異常事態が発生した場合は、次頁「緊急時通信連絡系統図」により、海上保安庁緊急電話118番、その他関係先へ速やかに連絡します。



## 緊急時通信連絡系統図



## [使用艇仕様]

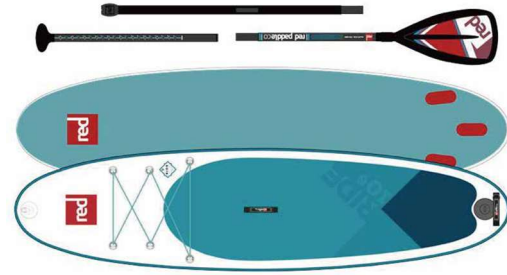
●種類／SUP(スタンドアップパドルボード)

ハードボードまたはインフレーターボード(空気注入式)

●長さ／約3.2～3.8m

●船体重量／約10kg～15kg

●定員／1名



## [ライフジャケット（救命胴衣）及びリーシュコード常時着用]

参加者全員がPFD(Personal Flotation Device)\*  
を常時着用する。

\* PFD

- ①落水しても身体が脱落しないように身体にフィットする構造（肩・腰周りにベルトあり）になっている。
- ②浮遊中でも呼吸ができるように胸部の浮力体が多く使用され仰向けで呼吸できるように7.5kg(平均的な成人の頭部の重量)浮く構造になっている。



---

## (8) 関係機関・団体との調整

---

### 【 連 絡 先 】

横浜市港湾局水域管理課	045-671-7130
神奈川県治水事務所	045-451-2500
伊勢佐木警察署(110)	045-231-0110
横浜海上保安部航行安全課	045-201-1671
神奈川県横浜水上警察	045-212-0110
横浜中消防署	045-251-0119

### 【 調整団体 】

横浜港運協会	045-201-3295
横浜回漕協会	045-201-9448
株式会社ケーエムシーコーポレーション	045-290-8377
横浜屋形船事業協同組合	045-325-8185
京浜フェリーボート	045-201-0821
日の丸自動車興業株式会社	080-3694-5931(西郷様)
横浜ポートサービス	045-671-7781
横浜ボートパーク	045-900-1449
横浜商業高校漕艇部	090-9137-5423(相田様)
横浜シーフレンズ	080-6508-3208(糸井様)